



## 病院理念

- 自分・家族が受けたい医療の実践
- 患者様の人権を尊重した医療の実践
- 地域に密着した医療活動の実施



## 新年度ごあいさつ



川村 武 院長

皆さんも「2025年問題」という言葉を聞かれたことはあるかと思います。昨今の医療・介護業界のメインテーマといっても過言ではないほど、2025年問題というキーワードは重要です。現在、約800万人いる団塊の世代が2025年に後期高齢者(75歳)となり、医療や介護を必要とする人の急増が見込まれています。

これからの日本は施設中心の医療・介護から、可能な限り住み慣れた生活の場において必要な医療・介護サービスが受けられ、安心して自分らしい生活を実現できる社会を目指すことが重要視されています。

その中で、当院が地域に根差す病院であり続けるため、皆様に常に進化し続ける医療を提供できるよう、本年5月7日よりリハビリテーション科を開設いたしました。診断から治療、そして在宅復帰まで全人的な医療を提供していけるよう今後とも頑張っ参ります。

### 新任医師ごあいさつ



真柄 那々子 医師



令和6年4月より川村病院に勤務させていただいております真柄那々子と申します。東京慈恵会医科大学を卒業後、同附属病院で2年間臨床研修医として勤務し、その後東京慈恵会医科大学外科学講座に入局し現在に至ります。川村病院は消化器疾患や乳腺外科、肛門科など幅広い診療を行う地域密着型病院であり、その中で私も微力ながら地域の皆様のお力になれるよう精進して参ります。まだまだ未熟ではありますが何卒よろしくお願ひいたします。

## Your Rights

### 患者様の権利

- 一人ひとりの人格や価値観などが尊重された医療を受ける権利があります。
- ご自分の希望や意見を述べる権利があると同時に希望しない医療を拒否する権利があります。
- 理解しやすい言葉や方法で納得できるまで十分な説明と情報提供を受ける権利があります。
- 十分な説明と情報提供を受けたうえで治療方法などを自らの意思で選択する権利があります。
- 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られる権利があります。

## Medical Consultation

### 医療相談のご案内

地域医療連携室では、患者様やご家族の抱える病気や療養生活に関する様々な悩みや心配ごとに対して、医療ソーシャルワーカーと入退院支援看護師を中心に相談を受け付けております。

- ◇ 入院や傷病によって生じる不安、心配事の相談
- ◇ 介護保険などの福祉制度の利用方法を知りたい
- ◇ 医療費の支払いなどの経済的不安がある
- ◇ 退院後における生活の不安など

- > 受付時間 8:30~17:00(木・日・祝日を除く)
- > 場 所 3階 地域医療連携室
- > T E L 0545-61-5170(直通) 地域医療連携室

## 外来担当医

変更が生じる場合もございます。お電話にてお問い合わせ下さい。

月曜日	●川村 武 ●川村 雅彦 ●中田 浩二 ●真柄 那々子
火曜日	●川村 統勇 ●堤 謙二 ●高橋 慶太 ●小山 友己
水曜日	●川村 統勇 ●川村 武 ●川村 雅彦 ●栗田 紗裕美
金曜日	●川村 武 ●堤 謙二 ●中田 浩二 ●高橋 慶太
土曜日	●川村 武 ●川村 雅彦 ●栗田 紗裕美 ●整形外科

※木・日・祝日は休診日になります。

### 診療時間

午前 8:30~11:30 土曜日 8:30~11:30  
午後 15:30~17:00

### 特別外来

月・火曜日 緩和ケア外来 大木 学 (15:00~17:00)  
土曜日 腫瘍精神内科 吉川 栄省 (15:30~17:00)  
土曜日(第1・2・3・5週) 炎症性腸疾患 吉村 直樹 (14:00~17:00)  
土曜日(第1・3週) 肝臓内科外来 込田 英夫 (14:00~17:00)

### 夜間救急入口施設時間

21:00~翌7:30  
院内防犯上により、上記の時間中、夜間救急入口を施設させていただいております。ご了承下さい。

医療法人社団 秀峰会 川村病院 胃腸科・肛門科・麻酔科・整形外科 静岡県富士市中島327(富士中学校東側) TEL 0545-61-4050 FAX 0545-64-7806

訪問看護ステーション ケアメイト 静岡県富士市松本357番地の1(茶色の三角建物内) TEL 0545-66-3622 FAX 0545-66-3623 居宅介護支援事業所 幸(さち) 静岡県富士市中島327 TEL 0545-60-1131 FAX 0545-66-3623

- 病院機能評価認定病院
- 日本外科学会専門医制度関連施設
- 日本乳癌学会関連施設
- 日本大腸肛門病学会関連施設
- 日本消化器病学会関連施設
- 日本消化器内視鏡指導連携施設
- 日本消化器外科学会専門医修練施設
- 日本消化管学会胃腸科指導施設
- 日本緩和医療学会認定研修施設
- 日本肝臓学会特別連携施設
- 救護病院
- 救急告示病院

## 新たに看護師が入職いたしましたので ご紹介させていただきます！

／こんな看護師を目指します／

### 藤田 航輝 看護師

少しでも早く業務を行えるようになり、患者様からはもちろん周囲の方からも頼られ、より多くの患者様のニーズにこたえることができる看護師を目指します。



### 栗田 侑香里 看護師

通院・入院している患者さんは身体的苦痛を感じている人も多く、精神的な不安にも寄り添えるよう患者さんの言葉を傾聴し、その人らしさを尊重した関りができる看護師を目指します。



### 鈴木 稀美 看護師

患者さんがその時々で何をしてほしいかを考えて行動することの重要性を学ぶため患者さんに寄り添い状況観察に伴う行動ができる看護師を目指します。



## 療法士ご紹介

### 急性期病棟

### 高橋 一貴 作業療法士

10年以上の療法士経験で在宅での関わりが最も長いです。今回がんリハビリを中心に急性期リハビリテーションを実施する機会をいただきましたので、これまで得てきた経験、知識を活かしていきたいと思っております。



### 佐野 ひかる 理学療法士

身体的な状態だけでなく、心の状態や環境を考えながら、個々にあったリハビリテーションの提供を心掛けていきたいと思っております。



### 訪問看護ステーションケアメイト

### 法月 香代 理学療法士

安心した日常生活が過ごせますよう、利用者様やご家族に寄り添い、精一杯サポートしていきたいと思っております。



### 渡邊 桂大 理学療法士

理学療法士として今年で11年目になります。利用者様の声を聞きより良いリハビリを提供できるよう日々努力していきます。



## 5月より、 リハビリテーション科を 開設しました。

リハビリスタッフは作業療法士1名、理学療法士1名と規模としては大きくはありませんが、「一人一人に必要な療法」に取り組むと同時に「今後も残っていくかもしれない不自由さ」、「無理なく続けられる能力や動作方法」、「環境の整備や用具を工夫すればできるようになること」など見極め、「暮らしやすさ」や「安楽な生活」を共に考えていく視点も大切に進めていきたいと考えております。



### 早い段階のリハビリテーションが一般的

近年では治療の早い段階でリハビリテーションを取り入れることにより、寝たきりの防止や後遺症の軽減に努めることが望ましいとされています。ただし、急性期においては、体の機能そのものの回復が一番重視されるべきですので、急性期リハビリテーションの内容は無理のない、負担の軽い程度のリハビリテーションを中心に行うこととなります。



### 急性期リハビリテーションの目的

急性期リハビリテーションの一番の目的は、「廃用症候群」の防止・軽減にあり、発症前の状態まで回復させることではありません。廃用症候群とは、寝たきりによる床ずれ（床ずれ）がイメージしやすいかもしれませんが、

そのほか…

- ・筋萎縮（筋肉がやせてしまうこと）
- ・関節拘縮（関節が硬く動きにくくなること）
- ・廃用性骨萎縮（骨の強度が落ちてしまうこと）
- ・起立性低血圧（立ちくらみ）
- ・括約筋障害（便秘・尿失禁）

などを指し、長期に渡り安静にしていることで起こる様々な弊害をさします。



### 次のステージの準備でもある急性期リハビリテーション

治療の早い段階から体を動かすことで、これからの廃用症候群になることを防げるだけでなく、次のステージに進んだ時にスムーズに回復につながる橋渡しになります。

私たちはそれぞれの患者さんのこれからの向け、個々の目標に寄り添いリハビリテーションを提供させていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いたします。